

旧アール・ディエンジニアリング最終処分場周縁地下水等調査結果について

栗東市小野の旧(株)アール・ディエンジニアリング最終処分場について、周辺環境への影響を把握するため、平成22年7月に13地点で実施しました当該処分場跡地の周縁地下水等モニタリング調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。

今回から、平成21年11月に地下水環境基準項目となった1,2-ジクロロエチレン(シス-1,2-ジクロロエチレンとトランス-1,2-ジクロロエチレン)、塩化ビニルモノマー、1,4-ジオキサンを調査項目に追加しました。

周縁地下水からは、ほう素が2地点、ひ素、鉛がそれぞれ5地点、ダイオキシン類が3地点、1,2-ジクロロエチレン、塩化ビニルモノマーがそれぞれ1地点、1,4-ジオキサンが2地点で、地下水環境基準値を超えて検出されました。

場内地下水からは、総水銀、カドミウムがそれぞれ1地点、ひ素、鉛がそれぞれ2地点で、地下水環境基準値を超えて検出されました。

場内浸透水からは、ほう素、CODがそれぞれ2地点、鉛、ふっ素、1,4-ジオキサン、BODがそれぞれ1地点で、地下水環境基準値および廃棄物処理法で定める安定型最終処分場の浸透水の維持管理(廃止)基準値を超えて検出されました。

下流地下水からは、ほう素、1,4-ジオキサンが1地点、塩化ビニルモノマーが2地点で、地下水環境基準値を超えて検出されました。

今回から測定を追加した項目を除いて、基準値を超えた他の項目の検出値は、これまでの結果と大幅に異なりませんでした。

1. 調査日

- 平成22年7月27日(火)

2. 調査実施者

- 滋賀県 琵琶湖環境部 最終処分場特別対策室

3. 調査地点

[PDF](#) [位置図\(PDF:311KB\)](#)

- 周縁地下水…8地点(No.1、No.2、No.3、No.9、No.1-1、No.3-1、No.4-1、No.4-2)。No.2とNo.3は今回実施せず。
- 場内地下水…2地点(B-3、D-2)

- 場内浸透水…2地点 (H16-No.5、A-3)
- 下流地下水…3地点 (No.K-1、市No.3、市No.7)

4. 調査項目と調査頻度

- 周縁地下水…BOD等の一般項目4項目、有害物質等19項目(年4回)＋有害物質等11項目(年1回)
- " (No.2)…BOD等の一般項目4項目、ひ素等3項目(年1回)
- " (No.3)…BOD等の一般項目4項目、ダイオキシン類(年1回)
- 場内地下水…BOD等の一般項目4項目、有害物質等18項目(年4回)
- 場内浸透水…BOD等の一般項目4項目、有害物質等18項目(年4回)
- 下流地下水…BOD等の一般項目4項目、有害物質等19項目(年2回)
- " (No.K-1)…BOD等の一般項目4項目、有害物質等19項目(年4回)＋有害物質等11項目(年1回)

5. 調査結果

(1) 周縁地下水

[PDF](#) [周縁地下水分析結果資料\(PDF:13KB\)](#)

(2) 場内地下水

[PDF](#) [場内地下水分析結果資料\(PDF:6KB\)](#)

(3) 場内浸透水

[PDF](#) [場内浸透水分析結果資料\(PDF:6KB\)](#)

(4) 下流地下水

[PDF](#) [下流地下水分析結果資料\(PDF:6KB\)](#)



【参考】栗東市調査結果との比較について

今年度、5月24日と8月26日に実施された市モニタリング調査結果では、ほう素が市No.7で1.3mg/l検出され、今回の県調査結果と同様に地下水環境基準値を超えた。

なお、総水銀は5月24日には市No.3で不検出、市No.7で0.0008mg/l検出されたが、8月26日は両地点で不検出となった。なお、今回の県調査結果は両地点で不検出であった。



関連リンク

[最終処分場特別対策室](#)